

研究所だより



No. 4

校内授業研究会に参加して

年度途中のお願いにもかかわらず、市内各校のご理解をいただき、所員の校内授業研究会訪問が実現しました。本当にありがとうございました。運よくタイミングが合った所員から寄せられた感想をご紹介します。



室蘭西中学校教諭 山本 祐揮 所員 (港北中校内研に参加)

今年度、たくさんの授業を見学させていただく機会を得ました。他教科の授業であっても「ここは自分の教科でも置き換え可能だな」という先生方の工夫を、良い意味で盗もうと考えることもできました。市教研が無くなった今、他の学校の先生の授業を見る機会は減りました。特に、初任段階の先生方はどうしたらよいかわからないかもしれません。「公開研」とタイトルが無くても、気軽に見学できる体制があると良いと考えます。



蘭北小学校教諭 宮野亜希子 所員 (旭ヶ丘小・八丁平小校内研に参加)

普段の授業の様子を知ることができ、日常の授業で活用してみようと思える点がたくさんありました。また、その後の事後研にも参加させていただき、和気あいあいとした中にも多くの学びがあり、大変勉強になりました。市内の学校でどんな取り組みをしているかを広く知るためにも大変有意義な時間だと感じました。



桜蘭中学校教諭 坂上 優 所員 (翔陽中校内研に参加)

「主体的に取り組む」という点で研究させていただきました。どの授業でも生徒の関心・意欲を高め、主体的に取り組みやすくするために先生方は様々な工夫をされていました。多くの先生方の授業を見ることは、そのような工夫を学ぶ良い機会だったと感じており、これからの授業に生かしていこうと思います。



白蘭小学校教諭 土田 一輝 所員 (翔陽中校内研に参加)

学校全体でICTを活用した授業づくりに取り組まれており、様々な実践を見せていただきました。私自身は小学校勤務ですが、Chromebookの活用方法については小学生でも取り入れられる部分も多かったため、自身の授業でも実践することができました。また、中学校の授業を参観させていただくことで、目指すべき子どもの姿の具体的なイメージをもつことができました。授業、校内環境、生徒の姿と本当に多くのことを学ばせていただきました。



地球岬小学校教諭 小林 雅哉 所員（八丁平小校内研に参加）

『海の命』の授業で、児童が自由対話や全体での話し合いを通して読みを深めている様子が見えました。また、教室環境や学びに向かう子どもたちの空気感なども感じ取ることができました。研修テーマについて説明を受けましたが、授業や学習環境の中にそれらが見事に具現化されていたと感じます。

紙の資料や動画等でも学べることは多くありますが、やはり実際の教室での営みを見ることが最も分かりやすく、得るものの多い学びだと感じました。受け入れていただきました八丁平小学校と、授業を公開してくださった木戸先生に感謝申し上げます。

所員自身が学ぶとともに、各校での学びを市内全体に広げる貴重な機会となりました。

次年度も、各校の校内授業研究会にお邪魔する機会を早い段階から設定させていただきたいと考えております。受け入れに関してのお気遣いは全く無用ですので、自校のメンバーの一人として参加させていただければありがたいです。

いずれは、市内の全教職員が自校以外の校内授業研究会に参加できるような体制づくりをしてまいりたいと考えています。

授業づくりグループ作成のスライド

授業づくりGでは、今年度4校で開催された室蘭市指定公開研究会と、所員の訪問が実現した校内授業研究会の実践等をまとめたスライドを作成しました。

各校の優れた実践を、よりよい授業づくりに向けて大切にしたい視点と結び付けて考えていただくための一助となればという思いをもっております。

以下の場所に格納し、いつでも見られるようにしておりますので、校内研修の時間等にご覧いただき、お一人お一人の授業づくりや、次年度の教育研究の方向性を定める際の資料の一つに加えていただければ幸いです。

eds01→教職員用→■教育研究所・共有■→「授業づくりスライド」

研究紀要

3月上旬に発行予定です。

今回発行の紀要では、授業づくりとICTの活用にかかるまとめに加えて、指定校の公開研究会における実践の概要や、校内授業研究会に受け入れてくださった際に所員が直接接触することができた各校の優れた実践を紹介しています。また、今後に向けたいくつかの提案もさせていただきます。

「自分の言葉で教育を語る」

教員にとって最も大切な営みです。この研究紀要が、そんな場をつくる一つのきっかけとなれば幸いです。

今年度は、年度途中にもかかわらず市内各校のご理解とご協力をいただき、様々な取組にチャレンジすることができました。また、これからの新しい室蘭市教育研究所の在り方を見出すためのきっかけをつくることもできました。ぜひご一読いただき、忌憚のないご批評をお願いいたします。

次年度も室蘭市教育研究所の活動にお力をお貸しください。

（文責；事務局長 林）